



テーマ

「子どもの居場所づくり」からはじめる地域共生社会

連携先

交野市福祉総務課、社会福祉法人交野市社会福祉協議会

主な活動場所

大阪府交野市

* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

子ども、居場所、ボランティアグループ、魅力発信、PR 動画作成

活動内容 概要

みんなが支え合い、だれもが活躍できる地域（地域共生社会）の実現を目指し、さまざまな活動に取り組みます。1年目は、1）子どもの居場所づくりイベントの企画・運営と、2）地域で活動するボランティアグループのPR 動画作成に取り組みます。2年目以降は、市内の各地区（校区）、個別のボランティアグループとの関係を深めながら、地域共生社会の実現に向けて大学生にできることを考え、実践していきます。

活動の目的

- ・ 7/28（金）に開催される子どもの居場所づくりイベントの企画・運営に取り組む
- ・ ボランティアグループの活動とその魅力を発信するためのPR 動画を作成する
- ・ 2年目以降の地域との協働のあり方について検討、方向性を決定する

求める人材像

- ・ 他者の想いに耳を傾け、寄り添いながら行動できる方
- ・ イベント企画、動画作成などに興味があり、楽しく活動できる方

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 他者の魅力を発見し、それを的確に発信する力
- インタビュー調査の結果に基づき、動画を作成（撮影・編集）するスキル
- みんなが支え合い、だれもが活躍できる地域のあり方を描く力

テーマ

子どもの声を聴く
— 交野市子ども・子育て支援事業計画策定支援

連携先

交野市子育て支援課

主な活動場所

交野市役所、交野市内の子どもの居場所・子育て支援施設
* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

子育て、貧困、ヤングケアラー

活動内容 概要

・現在、「こども基本法」の制定や「こども家庭庁」設置が進み、「すべての子どもの権利が守られ幸せに成長できる社会」の実現が課題になり、地方自治体は「こどもの視点に立った政策」の立案が求められている。交野市では、「第3期交野市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、子どもの貧困やヤングケアラーに関する実態調査を実施するとともに、「子ども」「若者」「子育て中の保護者」などから声を聴き、政策に生かす方法を検討している。

・今回のプロジェクトでは、実際に「子ども食堂」や「放課後児童会（学童保育）」等の子どもの居場所を訪問して子どもと関わりながら、子どもの声を聴く。また、子どもや若者・子育て中の保護者の意見を聞き、参加できる仕組みづくりを企画し、その結果を分析して今後の政策に生かすことを目指す。

活動の目的

- ・交野市の子ども・子育て支援事業計画策定に向けて学生ならではの支援を行う。
- ・実際に子ども・若者や保護者と関わりながら、その声を聴き、行政に届ける。

求める人材像

- ・地方自治に興味のある人
- ・子どもと関わる活動に興味がある人
- ・ヤングケアラー、貧困問題に関心のある人

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 子ども支援や子育て支援に関する知識や子どもと関わるためのスキル
- 困っている子どもや保護者の声を聴き、コミュニケーションの中で課題を発見する力
- 社会の実態を調査する中で、自治体の政策を立案する力



テーマ

あらゆる人が担い手となるような居場所づくりと ICT を活用した情報発信

連携先

社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会、寝屋川市立市民活動センター、
浄土宗 超泉寺、社会福祉法人みつわ会

主な活動場所

大阪府寝屋川市
* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

産学福連携、社会的孤立、地域資源を活用した居場所づくり、若者の活躍、情報発信

活動内容 概要

だれもが支え合い、活躍できる地域共生社会の実現に向けて、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人が心安らげる居場所づくりにさまざまな社会資源（空きスペース、空き店舗、銭湯など）を活用しながら取り組むとともに、地域の情報を対象ごとに適した形で発信する手法を検討します。寝屋川市社会福祉協議会のほか、寝屋川市内のさまざまな団体と協働しながら活動に取り組むことも特徴のひとつです。

活動の目的

- ・ 地域の社会資源を把握し、その活用方法を模索する
- ・ だれもが訪れやすい、訪れたいと思う居場所づくりに取り組む
- ・ 居場所の存在について、対象ごとに適した形で情報発信する

求める人材像

人や企業、組織や場所の「強み」「得意」を引き出す傾聴力と、それらを活用するための方法を描くための発想力をおもちの方（または、身につけたい方）、そして、他者との交流が大好き！という方をお待ちしています！

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 多様な価値観、境遇を想像し、それらに寄り添う力
- 人や組織の「強み」を把握し、その活用方法を発想する力
- 情報の内容や受け手を意識したさまざまな情報発信を行う力



テーマ

学校へいけない・いけない子たちの居場所をつくる

連携先

社会福祉法人 有田市社会福祉協議会

主な活動場所

和歌山県有田市、オンライン

* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

不登校児童・生徒支援、居場所、オンライン／対面交流、社会とのつながり

活動内容 概要

学校へいけない・いけない子たちとのオンライン（仮想空間）、対面を併用した交流を通じて、社会とのつながり、居場所づくりに取り組むプロジェクトです。その過程で、地域のさまざまな主体、他大学の学生と協働しながらイベントの企画・運営を行います。

活動の目的

- ・ 学校へいけない・いけない子たちの想いを理解する
- ・ それぞれの想いに寄り添う居場所づくりに取り組む
- ・ 地域に存在するさまざまな生きづらさに視野を広げた活動に取り組む

求める人材像

学校へいけない・いけない理由はさまざまです。
多様な価値観、趣味や特技をもった方に参加していただき、
学校へいけない・いけない子たちと社会をつなぐ架け橋になってもらいたいと思います。

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 多様な価値観、境遇を理解、想像し、寄り添う力
- 社会資源を活用して課題解決に取り組む力
- 想像し、考えたことを行動に移す力



テーマ

「地域が抱える課題を地域みんなで解決する」を支援する

連携先

社会福祉法人 和歌山市社会福祉協議会

主な活動場所

和歌山県和歌山市

* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

役割、居場所、世代間交流、地域拠点、地域福祉、住民主体、地区社会福祉協議会

活動内容 概要

誰もが居場所と役割を持ち、住み慣れた場所で支え合いながら暮らしつづけられる地域づくりの実現に向けて活動する地区社会福祉協議会とともに、それぞれの地域が抱える課題の解決に取り組む。今年度は、「砂山地区におけるみんなが活躍できる居場所づくり」および「今福地区の銭湯などの地域資源を活用した地域交流イベントの実施とそれを起点とした地域づくり」に取り組む。

活動の目的

- ・ 砂山地区におけるみんなが活躍できる居場所づくりの企画・運営に参加する
- ・ 今福地区において地域交流イベント（今福おこし、フロリンピック）を開催する
- ・ イベントを起点とした日常的な地域交流、支え合いのあり方を検討、実践する
- ・ 砂山・今福地区での経験、学びを市内他地区に広げる手法を検討、実践する

求める人材像

和歌山市内には 42 の地区社協があり、それぞれの地域にはそれぞれの強みと弱み、特徴があります。地域の実情や想いにしっかりと耳を傾け、つねに地域に寄り添いながら、ともに考え、実践することのできる方の参加をお待ちしています！

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 地域の実情を的確に把握し、課題を発見する力
- 発見した課題を他者と共有し、対話を通じて解決策を導き出す力
- 他者と協働しながら社会資源を活用した課題解決に取り組む実践力



テーマ

中山間地域における生活支援について考え、実践する

連携先

社会福祉法人紀美野町社会福祉協議会、紀美野町役場保健福祉課

主な活動場所

和歌山県海草郡紀美野町

* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

中山間地域、居場所、防災、健康、担い手、道掃除

活動内容 概要

高齢化が進展する中山間地域において、だれもがいきいきと暮らすことのできる地域づくりを目指した活動に、社会福祉協議会、行政、そして地域住民と協働しながら取り組みます。具体的には、「居場所づくり」「健康づくり」「防災訓練」「清掃活動」などに取り組みながら、中山間地域における生活支援のあり方を考え、実践します。

活動の目的

- ・ 小、中学校と連携して実施する防災訓練の一部を企画、運営する
- ・ 地域内の多様な資源を活用した「居場所づくり」に取り組む
- ・ 清掃活動などを通じて生活支援のために大学生にできることを考える

求める人材像

自然豊かな紀美野町で、人びとの暮らしを支える活動に取り組もうとする意欲のある方、多様な人びと、組織と交流することが好きな方の参加をお待ちしています！

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 小中学生・高齢者など、対象ごとのニーズを把握し、最適な解決策を導きだす力
- 多様な暮らしを想像し、その生きづらさに寄り添う力
- 他者と協働しながら社会資源を掘り起こし、課題解決に寄与する力

テーマ

貧困問題についてのフィールドワークと
社会調査の実践

連携先

認定 NPO 法人ビッグイシュー基金

主な活動場所

大阪市内各地、オンライン

* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

貧困問題、ホームレス問題、生活困窮者、住宅問題、社会的包摂

活動内容 概要

大阪市内のホームレス数は全国最多の 923 人（22 年厚労省調査）。ホームレスの人がすぐにできる雑誌販売の仕事を提供する(有)ビッグイシュー日本および、NPO 法人ビッグイシュー基金は市内に本部をもつ。その活動現場をフィールドとし、ホームレス支援の実態と課題を学ぶとともに、ホームレス状態の人やその経験者に直接話を聞き、その内容をまとめ、報告することで、定性的調査の手法を身につけ、調査の成果を支援現場や政策形成に役立てる方法を探る。

活動の目的

社会の周縁にいる当事者の声を聴き、またその周辺でボランティア支援にかかわる様々な人々と関わる機会を得る。調査設計や報告書作成などの手法を身につける。

求める人材像

貧困問題、住宅問題、社会福祉、市民活動、対人援助、困窮者支援に興味のある人

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 困窮者への公・民のサポートについて学べる
- ホームレスの多様な人たちと彼らを支援する人たちとの交流機会を得られる
- 貧困問題を生み出す社会・経済の構造的問題を考えることができる



テーマ

知的障害をもつ子ども・青年たちと創造的にかかわる

連携先

神戸大学大学院人間発達環境学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
のびやかスペースあーち

主な活動場所

兵庫県神戸市灘区
* 学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

多様性、障害、子ども、居場所、支援、地域

活動内容 概要

知的障害をもつ子ども・青年たちと交流し、地域における居場所の意味を考える。実際にプログラム・アクティビティを企画・運営し、多様な人々が参加できる場を作るためにどのような工夫ができるかを知る。

活動の目的

- ・ 知的障害をもつ子ども・青年たちの置かれている状況を知る
- ・ さまざまな人が参加できる活動はどのようなものかを、具体的に考えることができるようになる
- ・ 普段「当たり前」だと思っていることを問い直せるようになる

求める人材像

良い意味で「軽率に」行動し、それと同時にふりかえりができる人です。「知っている」知識より「知りたい」気持ちのほうが大切です。堅く考えずに飛び込んでみると、実は色々な面白さがあることに気づくはずですよ。

活動を通じて
得られる
知識・スキル・視点など

- 「多様性」をもった場を実現するとはいかなることか、具体的に考える力
- 共感することとともに、違和感を言葉にする力
- いまある資源を生かして、実践を行う力